

グローバルESGファンドが新規設定額史上2位!

～NISAで7月に投資されたのは? 既存投資家(投信全体)も新規投資家(NISA向けファンド)も、つみたてNISA投資家(つみたてNISA適格投信)も、グローバル株人気!(含むグローバルESGファンド)～

三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 松尾 健治
窪田 真美

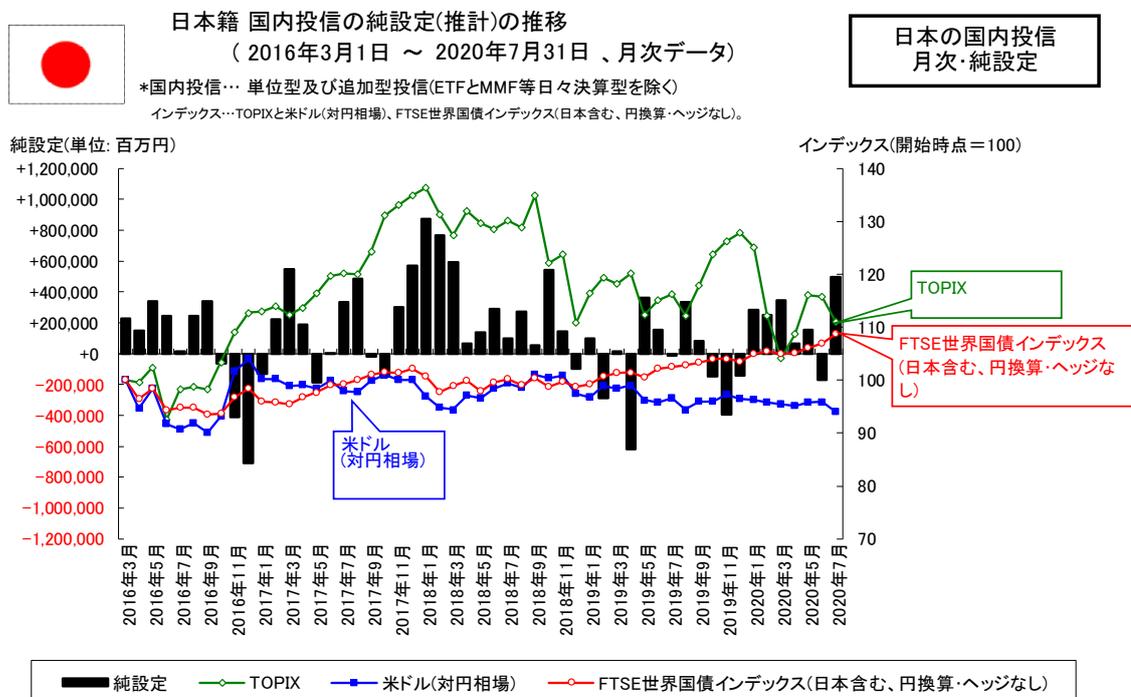
※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

2020年7月の投信全体とNISAのフロー ～グローバル ESG ファンドが新規設定額史上2位!～

日本の投信でどのようなファンドが買われたか、特に残高 8 兆 5508 億円の NISA で、その 6 割を占める投信で何が買われたかを見る。当コラムでは投資家を「既存投資家」と「新規投資家」に分け、前者の「既存投資家」は投信全体のフローで代替、後者の「新規投資家」は「NISA 向けファンド」(後述※1 参照)で代替する。これは日本証券業協会が「NISA を利用する層としては、投資経験及び投資資金ともに豊富で比較的年齢の高い層だけでなく、投資経験が浅くまた投資資金が少ない若年層まで幅広く考えられる。」(URL は後述[参考ホームページ]参照)と言っている事も参考としている。

<投信全体のフロー～既存投資家(投信全体)はグローバル株、米国株、REIT～>

まず、既存投資家を示す投信全体(単位型及び追加型投信～ETFとMMF等日々決算型を除く～)の純設定(推計)は、最新2020年7月に+4983億円と、今年最大となり、2018年10月(+5409億円)以来の大きな純流入。単位型は2020年7月にかけて4カ月連続で純流出となる中、追加型による大きな純流入となっている。

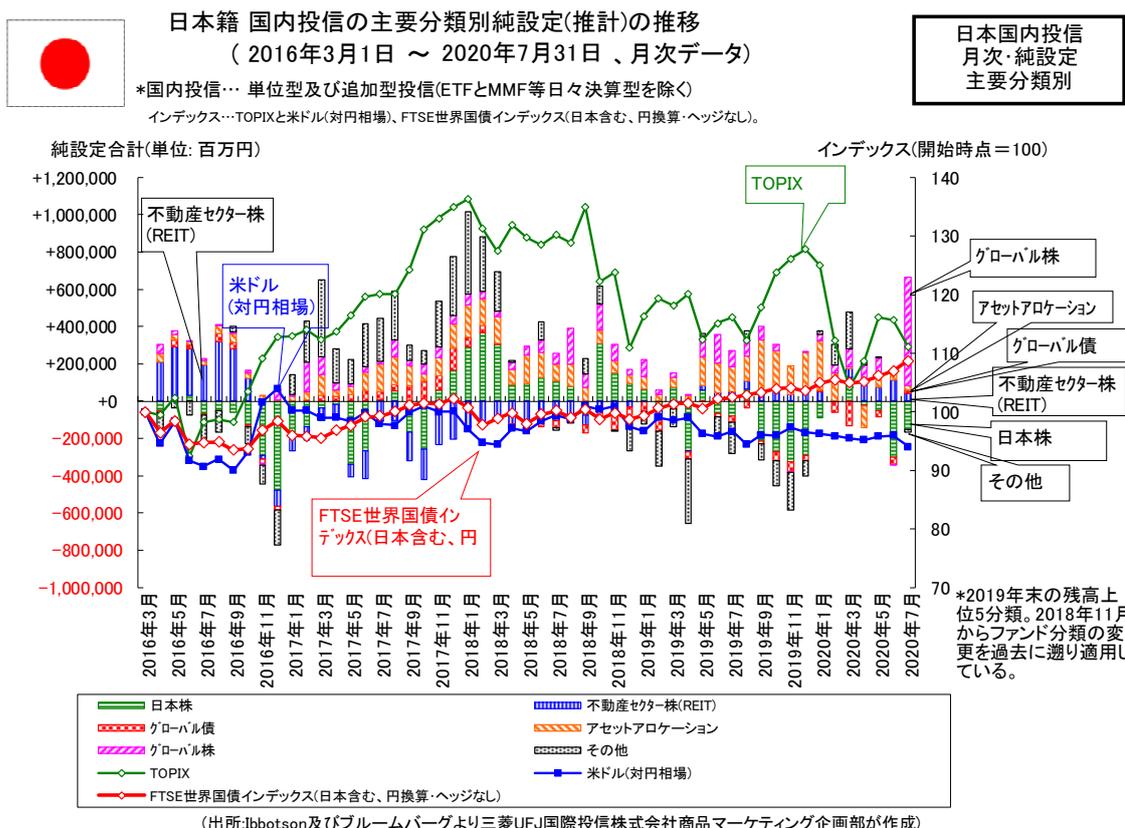


(出所:ブルームバーグ、Ibbotsonより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

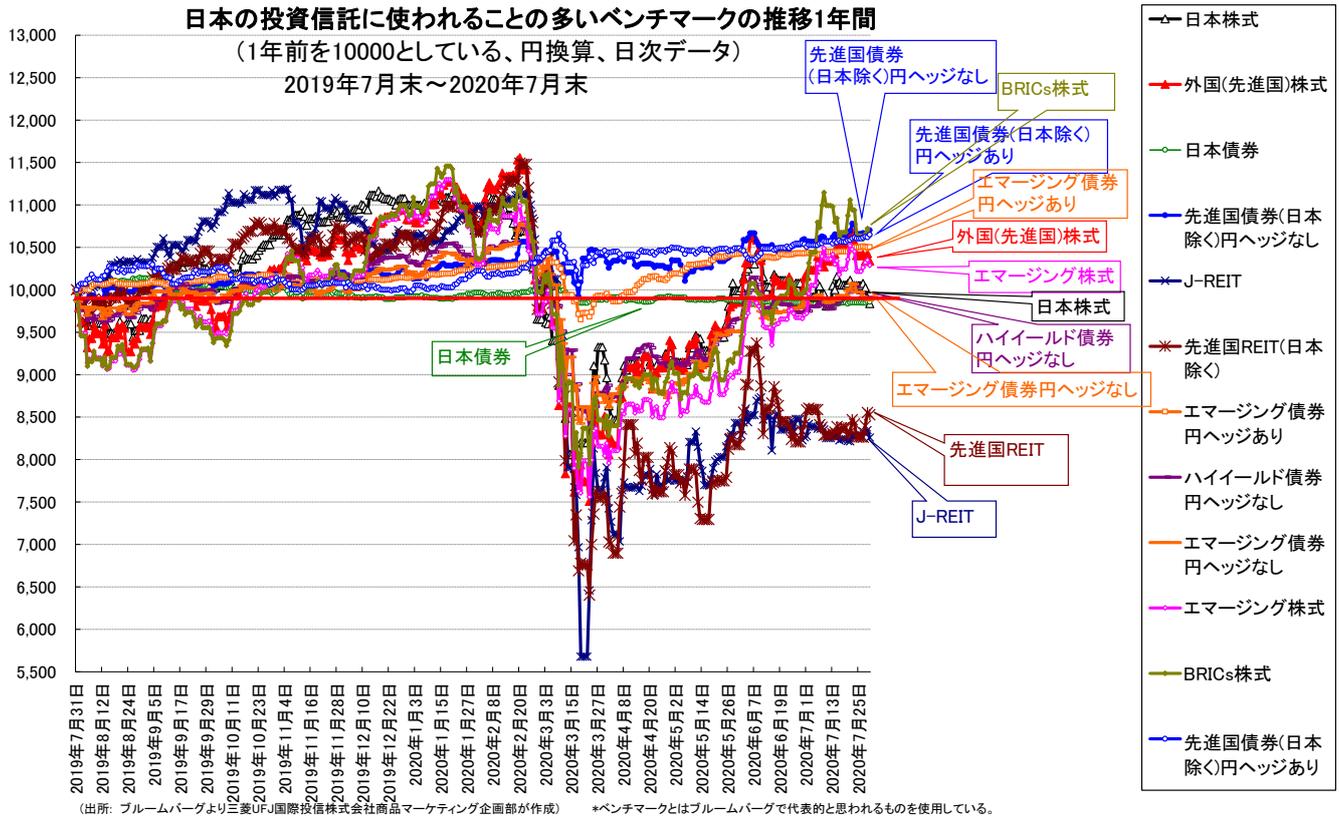
投資対象別で見よう(主要分類～後述※2 参照)。次頁に示される通り、2020年7月に飛びぬけて純設定の大きかったのはグローバル株である。グローバル株の純設定は、2020年7月は単月で+5824億円と、2020年の年

初来(1~7月)が約+9800億円であり、2019年(1~12月)に約+7000億円、2018年(1~12月)に約+8500億円と比べてもその大きさが分かる。このグローバル株だが、**2020年7月20日に3830億円と言う史上2位の新規設定額となったESGファンドが大きい**(後述※3参照)を含む(史上最大は日本株ファンドで今から20年前の2000年2月に7898億円で設定された)。2020年7月に新規設定されたグローバル株に投資するファンド13本の月間純設定額は計+5300億円にもなった。

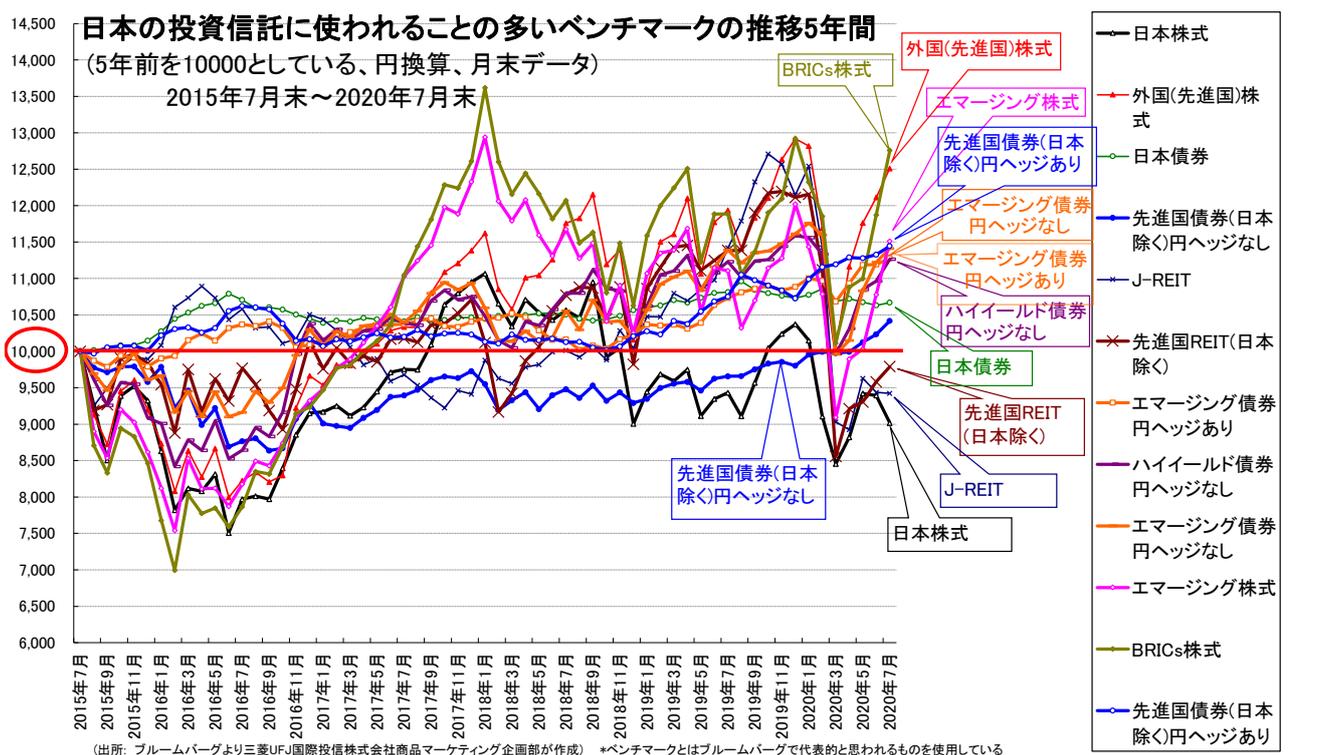
グローバル株については、「過去を振り返ると、『世界株』『世界REIT(不動産投資信託)』『米ハイイールド債(低格付け社債)』といった投資対象は、長期リターンは良好なのだが、短期的には波乱要因で値が大きく動く。つまり大きく下げた時は投資の絶好の機会になることが多い」(7月10日付日本経済新聞電子版~URLは後述[参考ホームページ])、「顧客にすすめているのは、世界の株式で運用する投信への長期投資。短期的な利益を目指すのではなく、腰を据えた投資で成果を上げてもらう販売戦略をとる。」(8月4日付日本経済新聞電子版~URLは後述[参考ホームページ])、「現在は、感染拡大が収まらないウイズコロナの局面だが、投信の世界では、新型コロナウイルス感染拡大を克服した後の世界である「アフターコロナ」を見据えて、ファンドに資金が流入し、また、新ファンドが次々に設定されている。」(7月7日付モーニングスター~URLは後述[参考ホームページ])と言われる事から7月のグローバル株人気は続く可能性がある。次いで7月に純設定の大きかったのは米国大型グロース株、不動産セクター株(REIT)だった。



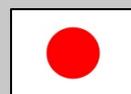
純設定とパフォーマンスの関係はどうか? 日本の投信に使われる事の多いベンチマークのパフォーマンス推移を見た所、次頁の通り、2020年7月末までの1年間のパフォーマンスで好い順に、先進国債券円ヘッジなし、BRICs株式、先進国債券円ヘッジあり、エマージング債券円ヘッジあり、先進国株式、エマージング株式となっている(*グラフは1年前を10000としている、円換算、日次データ)。



下記グラフは5年のパフォーマンスである。5年間のパフォーマンスは好い順に、BRICs 株式、先進国株式、エマーシング株式、先進国債券、エマーシング債券、ハイイールド債となっている(*グラフは5年前を10000としている、円換算、月末データ)。先進国株式は、2020年7月末までの半年では下記グラフのベンチマークの中、下から6番目だったが、3年では最も好く、5年ではBRICs株式に次いで2番目に好いパフォーマンスとなっている。



※1: NISA 向けファンド…



投資信託協会の言う「NISA 向けのファンド(*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考にしながら(URL は下記参照)、2013 年 11 月末時点の契約型公募投信純資産が 1 兆円以上ある投信会社 17 社(*全 84 社の約 90%を占める)の株式投信(ETF を含む)で「NISA 向け」、「NISA 専用」、「NISA で選ぶ」、「NISA におすすめ」などと紹介されているファンド、それに加え、2013 年 4 月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている。

日本証券業協会は「NISA 制度の利用者にとって、短期間に金融商品の買換え(乗換え)を行う又は分配金再投資型の公募株式投資信託につき高い頻度で分配金の支払を受けるといった投資手法等は NISA 制度を十分に利用できない場合がある」(URL は下記参照)、投資信託協会は 2013 年 11 月 21 日に「『NISA』の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査」の中で「NISA においては一般的に、投資未経験者層、或いは久々に投資を行う層を意識して、比較的风险を抑えた商品」と言っている(URL は下記参照)。

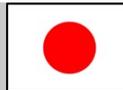
尚、2013 年 4 月以降と言うのは、NISA が含まれる税制改正(関連)法が 2013 年 3 月 30 日に成立・政省令公布されたため。また、単位型・限定追加型・年 1~2 回分配以外のファンド・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。ただ、同じシリーズが該当している場合は年 1~2 回以外を含めている。しかし、通貨選択型については、年 1~2 回以外を除いている(*マネー・プールは年 1~2 回でも除いている)。こうした「NISA 向けファンド」を抽出した所、2020 年 7 月 31 日時点で 2354 本となった。

以下、参考 URL である。金融庁「つみたて NISA の対象商品」…「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>」、2014 年 1 月 8 日付投資信託協会メールマガジン「NISA 向けのファンドって?」…「<https://www.toushin.or.jp/mailmag/backnumber/>」、2019 年 4 月 26 日付日本証券業協会「NISA 制度の口座開設及び勧誘並びに販売時等における留意事項について(ガイドライン)」…「<http://www.jsda.or.jp/anshin/oshirase/files/nisaguideline.pdf>」、2013 年 11 月 21 日付投資信託協会「『NISA』の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査」…「<http://www.toushin.or.jp/topics/2013/10055/>」、つみたて NISA の要件は 2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179「積立 NISA の適格投信は全体の 1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の 1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…「https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf」。

※2: 主要分類…



モーニングスター分類で 2019 年 12 月末の純資産の大きい上位 5 分類である。グローバル株は、2018 年 11 月 1 日のグローバル分類の変更でグローバル大型株及びグローバル中小型株と分かれた為、グラフでは、従来通りの「グローバル株」として合算する。また、アセットアロケーション型は、「アセットアロケーション慎重型」、「アセットアロケーション柔軟型」、「アセットアロケーション標準型」、「アセットアロケーション積極型」、「アセットアロケーションその他」を合算。米国大型グロース株、CB、テクノロジー・セクター株、公益セクター株、通信株、日本債などは「その他」に含む。



※3: 日本の ESG ファンド…

2020年7月の投信全体(単位型及び追加型投信~ETFとMMF等日々決算型を除く~)の純設定(推計)を+4983億円(今年最大)に押し上げた要因として、大きいのが**2020年7月20日に3830億円と言う史上2位の新規設定額となったアセットマネジメントOne「グローバル ESG ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)」(手数料税抜 3.0%、信託報酬税抜 1.68%、販売会社みずほ証券・みずほ銀行・みずほ信託銀行)**である。

「グローバル ESG ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)」は名前に示される通り、ESG/Environmental, Social and Governance/環境・社会・企業統治ファンドである。そこで、ESG ファンドの2020年8月12日現在の純資産を見た(オープン・エンドとETFで、MMFを除く)。ESGかどうかについては当コラム筆者が名前前で判定して選んでいる。「**グローバル ESG ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)**」は新規設定後も増えており、2020年8月12日現在4204億円の純資産となっており、ESG ファンドの過半数を占めている。

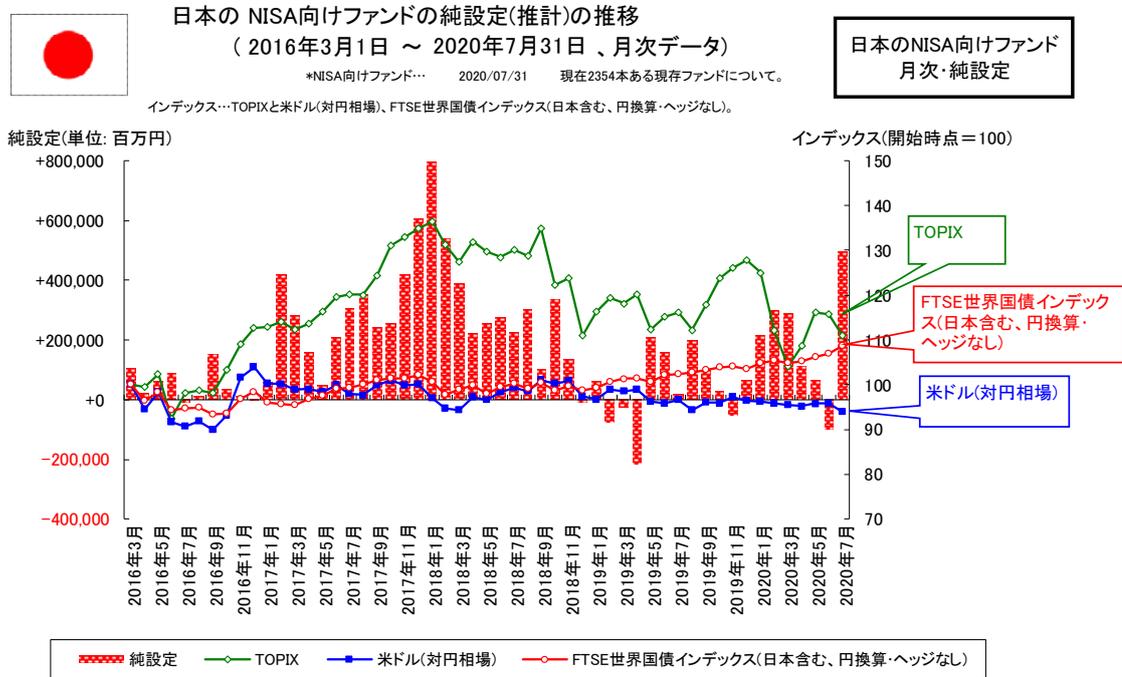
ESG ファンドに好材料が多く、今後も期待出来そうだ。ただ、世界的に見ると、そうでもない材料もある。冷静な判断が求められる。世界の ESG ファンドについては、2020年7月20日付日本版ISAの道その311『資産運用業高度化プログ्रेसレポート2020』~日本のパフォーマンスとファンド数と専用ファンド、欧州のプロダクトガバナンス規制、米国のインベストメント・デューティ・レギュレーション(DOLのESG規制)~(https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_200720.pdf)を参照の事。

ファンド名	ファンド形態	グローバル分類 (モーニングスター分類)	投信会社名	設定日	純資産 (千万円) 直近	申込 手数料 税抜 最大 (%)	信託 報酬 率 (%)	信託 報酬 率 (税 抜・ 年 率%)
1 グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	オープンエンドファンド	グローバル大型株	アセットマネジメントOne	2020/7/20	420.372	3.00	0.30	1.68
2 野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型	オープンエンドファンド	ヘルスケア・セクター株	野村アセットマネジメント	2018/10/23	73.354	3.00	0.30	1.65
3 野村ACI先進医療インパクト投資 Dコース 為替ヘッジなし 予想分配金提示型	オープンエンドファンド	ヘルスケア・セクター株	野村アセットマネジメント	2018/10/23	48.026	3.00	0.30	1.65
4 野村ACI先進医療インパクト投資 Aコース 為替ヘッジあり 資産成長型	オープンエンドファンド	ヘルスケア・セクター株	野村アセットマネジメント	2018/10/23	39.556	3.00	0.30	1.65
5 世界インパクト投資ファンド	オープンエンドファンド	グローバル中小型株	三井住友DSアセットマネジメント	2016/8/26	26.825	3.00	0.00	1.80
6 損保ジャパン・グリーン・オープン	オープンエンドファンド	日本株	SOMPOアセットマネジメント	1999/9/30	21.949	3.00	0.30	1.50
7 野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型	オープンエンドファンド	ヘルスケア・セクター株	野村アセットマネジメント	2018/10/23	21.129	3.00	0.30	1.65
8 世界インパクト投資ファンド(資産成長型)	オープンエンドファンド	グローバル大型株	三井住友DSアセットマネジメント	2018/5/14	8.105	3.00	0.00	1.80
9 One ETF ESG	ETF	日本株	アセットマネジメントOne	2017/11/27	8.037	0.00	0.00	0.13
10 ブラックロック・ガバナンス・フォーカス・ファンド	オープンエンドファンド	日本株	ブラックロック・ジャパン	2018/9/18	7.647	3.00	0.00	1.32
11 日興エコファンド	オープンエンドファンド	日本株	日興アセットマネジメント	1999/8/20	6.931	2.00	0.50	1.50
12 ピクテ・エコティスカバリー・アロケーション・ファンド(年2回決算型)ヘッジなし	オープンエンドファンド	農業・インフラ・輸送等セクター株	ピクテ投信投資顧問	2009/11/27	6.349	3.00	0.30	1.64
13 ダイワ上場投信-MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	ETF	日本株	大和アセットマネジメント	2017/9/25	4.944	0.00	0.00	0.15
14 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	オープンエンドファンド	グローバル大型株	三菱UFJ国際投信	2019/6/17	4.787	3.00	0.00	1.33
15 アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド	オープンエンドファンド	モレト・アセットアロケーション(株50~70%)	アムンディ・ジャパン	2016/8/23	4.776	1.00	0.00	0.80
16 クリーントック株式ファンド(資産成長型)	オープンエンドファンド	グローバル大型株	大和アセットマネジメント	2020/7/31	3.446	2.00	0.00	1.04
17 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド	オープンエンドファンド	天然資源関連株	三菱UFJ国際投信	2007/7/27	3.429	3.00	0.30	1.00
18 ダイワ・エコ・ファンド	オープンエンドファンド	日本株	大和アセットマネジメント	2006/3/9	2.798	3.00	0.00	1.52
19 上場インテックスファンド日本経済貢献株	ETF	日本株	日興アセットマネジメント	2016/5/24	2.706	0.00	0.00	0.15
20 日本経済再生戦略株式ファンド	オープンエンドファンド	日本株	三菱UFJ国際投信	2014/5/1	2.655	3.00	0.30	1.54
21 ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド	オープンエンドファンド	日本株	ちばぎんアセットマネジメント	2020/3/10	2.626	3.00	0.00	0.70
22 グリーン世銀債ファンド	オープンエンドファンド	Emerging 債	日興アセットマネジメント	2010/6/24	2.383	3.00	0.00	0.90
23 日本ESGオープン	オープンエンドファンド	日本株	岡三アセットマネジメント	2005/8/12	1.902	3.00	0.00	1.40
24 社会課題解決応援ファンド	オープンエンドファンド	日本株	大和アセットマネジメント	2018/12/26	1.618	3.00	0.00	1.43
25 クリーントック株式&グリーンボンド・ファンド(資産成長型)	オープンエンドファンド	モレト・アセットアロケーション(株50~70%)	大和アセットマネジメント	2020/2/18	1.468	2.00	0.00	1.04
26 ピクテ・エコティスカバリー・アロケーション・ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし	オープンエンドファンド	農業・インフラ・輸送等セクター株	ピクテ投信投資顧問	2015/4/30	1.343	3.00	0.30	1.64
27 クリーントック株式&グリーンボンド・ファンド(予想分配金提示型)	オープンエンドファンド	モレト・アセットアロケーション(株50~70%)	大和アセットマネジメント	2020/2/18	1.298	2.00	0.00	1.04
28 楽天・ポジティブ・インパクト株式ファンド	オープンエンドファンド	グローバル大型株	楽天投信投資顧問	2019/12/20	1.276	3.00	0.00	0.83
29 ブラックロック・インパクト株式ファンド(ノーロード/為替ヘッジなし)	オープンエンドファンド	グローバル大型株	ブラックロック・ジャパン	2015/9/30	1.199	0.00	0.00	0.33
30 SBIグローバルESGバランス・ファンド(為替ヘッジなし)	オープンエンドファンド	モレト・アセットアロケーション(株50~70%)	SBIアセットマネジメント	2019/5/30	1.038	3.00	0.10	1.07
90本 *純資産は合計、その他は単純平均。				1994/12/11	744.815	2.09	0.11	0.67

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

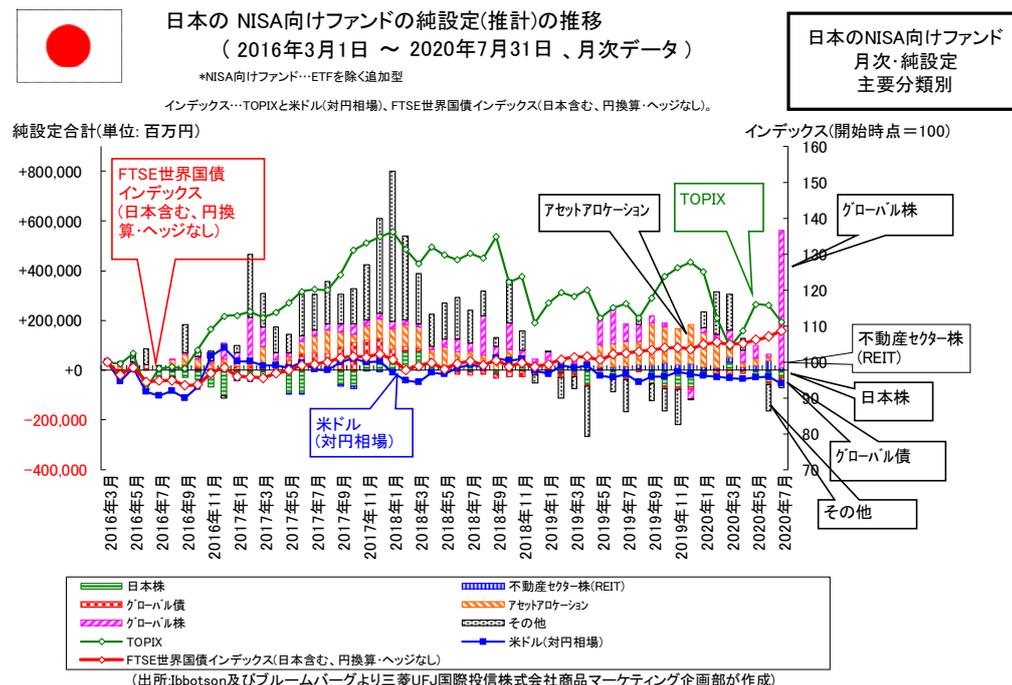
<NISA 向けファンドのフロー～新規投資家(NISA 向けファンド)はグローバル株、株式その他、米国株～>

次に新規投資家を示す NISA 向けファンドの純設定を見る。最新 2020 年 7 月は+4938 億円と 2018 年 2 月 (+5400 億円) 以来 2 年 5 カ月ぶりの大きな純流入となった(前月 6 月は 7 カ月ぶり純流出。*NISA 向けファンド…前述※1 参照)。



(出所:ibbotson及びブルームバーグより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

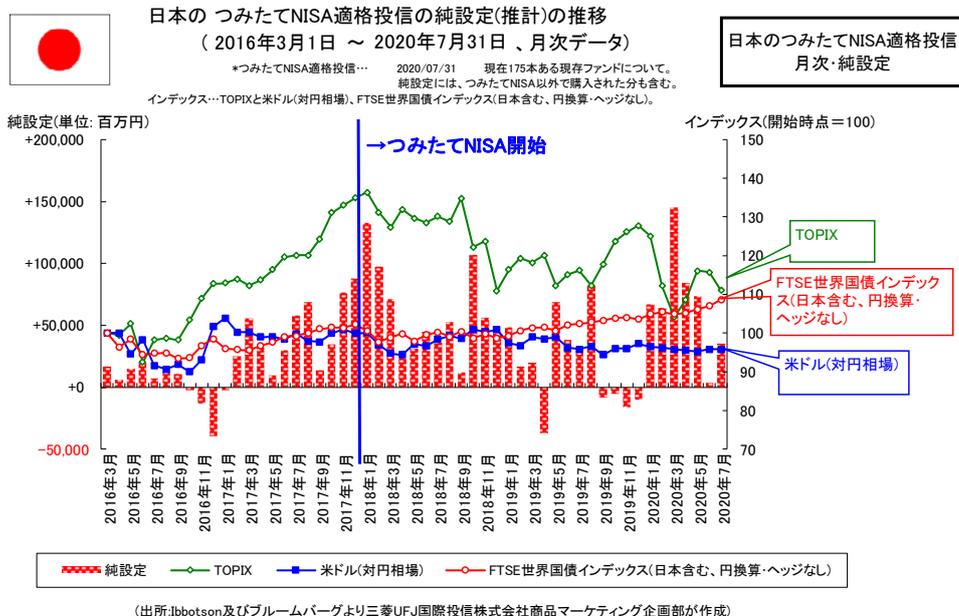
この新規投資家と思われる投信の純設定を、投資対象(主要分類)別に見る。国内投信全体と同じ主要分類を用いると、2年5カ月ぶりの大きな純流入となった7月に純設定が最も大きかったのは既存投資家(投信全体)同様、グローバル株だった。次いで株式その他、米国大型ブレンド株となっている(下記グラフで、株式その他や米国大型ブレンド株は「その他」に含む～※2参照)。株式その他で大きいのは米国の株価指数先物を機動的に活用するファンドであり、足元で純流入が増えている。



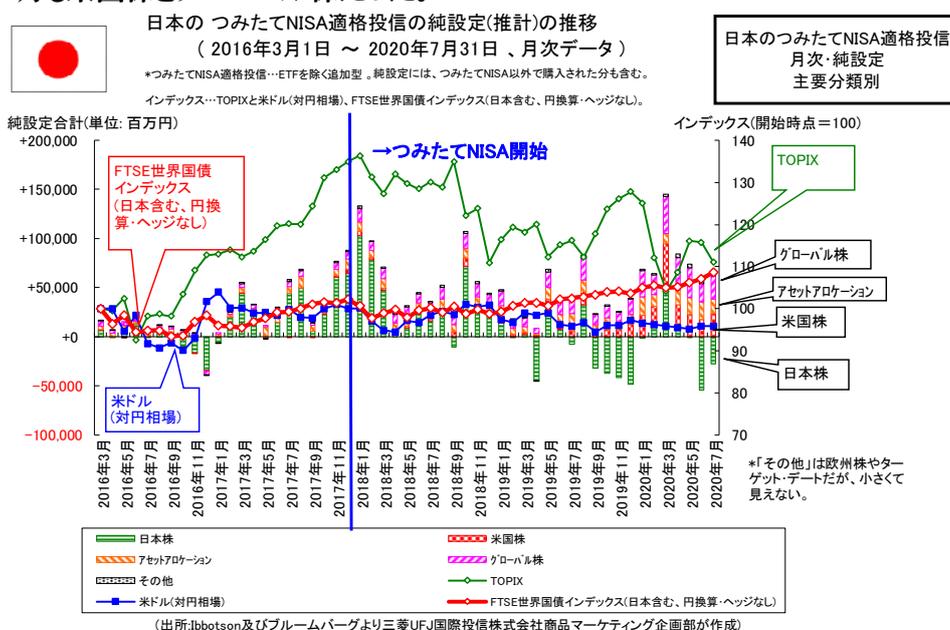
(出所:ibbotson及びブルームバーグより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

< NISA の投信フロー～つみたて NISA 投資家(つみたて NISA 適格投信)は米国株とグローバル株～>

最後に、つみたて NISA 適格投信を使い、つみたて NISA 投資家の純設定を見る(金融庁「つみたて NISA の対象商品」及びつみたて NISA の要件は 2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179～後述[参考ホームページ参照]。 つみたて NISA 適格投信であり、つみたて NISA 以外で購入された分を含む(ETF を除く)が、分散・積立投資の資金動向を示すものとも思われる。 このつみたて NISA 投資家の投信純設定は、2020 年 7 月に+355 億円と 5 月(+735 億円)以来の大きさを、7 カ月連続の純流入となった。



投資対象別で見る。投信全体と同様、日本株の純流出が大きい。ただ、日本株の7月の純設定は-280億円とつみたてNISAが始まって以来、最大の純流出となった前月6月(-544億円)からは鈍化。その中、純設定の大きかったのは7月も米国株とグローバル株だった。



以上、既存投資家(投信全体)、新規投資家(NISA 向けファンド)、つみたて NISA 投資家(つみたて NISA 適格投信)の投信フローに見てきた。 NISA/少額投資非課税制度)で何が買われたか? また、投資の初心者や若年層を中心に多い「どの商品を購入してよいかわからない」(2020 年 2 月 13 日付投資信託協会アンケート～後述[参考ホームページ]参照)にも参考になったら幸いである。

以上

[参考ホームページ]

2020年4月26日付日本証券業協会「NISA 制度の口座開設及び勧誘並びに販売時等における留意事項について(ガイドライン)」…「<http://www.jsda.or.jp/anshin/oshirase/files/nisaguideline.pdf>」

2020年7月10日付日本経済新聞電子版「コロナ関連のイノベーション銘柄 テーマ型投信で投資アフターコロナの投信選び(3)」…「<https://r.nikkei.com/article/DGXMZ061079300S0A700C2000000?type=my#AAAUAgAEMA>」

2020年8月4日付日本経済新聞電子版「歴代の大型設定ファンド、資金流入は続かず 投信ランキング」…「<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ062126590R30C20A7000000/>」

2020年7月7日付モーニングスター「アフターコロナを見据えたファンドが続々、既存テクノロジーファンドも人気再燃」…「https://www.morningstar.co.jp/market/2020/0707/fund_00897.html」

金融庁「つみたてNISAの対象商品」…「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>」

つみたてNISAの要件は2017年4月24日付日本版ISAの道 その179「積立NISAの適格投信は全体の1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…「https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf」

2020年2月13日付投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査結果-2019年」…「<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2019/>」

三菱UFJ国際投信【投信調査コラム】日本版ISAの道 バックナンバー…

「<https://www.am.mufg.jp/market/report/investigate.html>」

「<https://www.am.mufg.jp/smp/market/report/investigate.html>」

～Google等で「投信調査コラム」もしくは「日本版ISAの道」と検索～

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

本資料中で使用している指数について

- ・ TOPIX (東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- ・ FTSE世界国債インデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ 「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。